

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 59 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2021 年 7 月 21 日 (水) 9:30~11:30
2. 場 所 Web 開催 (Webex)
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 中川 (幹事), 大木, 望月, 新井, 加藤, 右田, 門間, 古谷, 浅妻 (上山代理), 吉成, 遊佐, 一森, 松藤, 辻 (16 名)
(欠席委員) 橘高, 山上, 稲垣 (3 名)
(常時参加者) 山崎, 長谷川, 上野, 牟田, 中原, 後藤 (中村代理), 澁谷, 伊藤
(傍聴者) 榎崎

4. 配布資料

- P14SC-59-1 第58回PLM分科会議事録案
 - P14SC-59-2 人事
 - P14SC-59-3-1 PLM実施基準2021の講習会について
 - P14SC-59-3-2 PLM実施基準2021転載許諾に係る改定案
 - P14SC-59-4-1 PLM実施基準2021年版 (追補1案) の本報告案
 - P14SC-59-4-2 PLM実施基準2021年版 (追補1案) 整理表からのコメント対応
 - P14SC-59-4-3 PLM実施基準2021年版 (追補1案) の確認依頼案
 - P14SC-59-4-4 原子力発電所の高経年化対策実施基準: 202X (追補1)
 - P14SC-59-5-1 長期運転体系検討タスクの報告
 - P14SC-59-5-2 長期運転体系検討タスクレポート (案)
 - P14SC-59-5-3 原子力施設の安全な長期運転を支える学会標準等の体系化に関する提言及び長期運転体系検討タスクレポート (案) に関する意見
 - P14SC-59-6 PLM実施基準改定スケジュール
 - P14SC-59-7 米国SLRに関する技術情報
- 説明資料
- P14SC-59-説明-1 2020年度倫理教育実施結果報告
- 参考資料
- P14SC-59-参考-1-1 第84回標準委員会議事録 (案)
 - P14SC-59-参考-1-2 第55回システム安全専門部会議事録 (案)

5. 議事

会議に先立ち、出席委員は 16 名で定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-59-1)

第 58 回 PLM 分科会議事録案が紹介され、承認された。

(2) 人事 (P14SC59-2)

・委員の退任

原子力安全推進協会の矢野氏及び日本原子力発電の上山氏の退任が報告された。

・委員の新任

新委員として日本原子力発電の浅妻氏が推薦されている旨説明され、審議の結果新委員として選任することが承認された。

・常時参加登録の解除

東北電力の赤間氏及び日本エヌ・ユー・エスの中村氏の常時参加登録解除が報告された。

・常時参加登録

東北電力の平澤氏及び日本エヌ・ユー・エスの後藤氏から常時参加登録の希望がある旨紹介があり、審議の結果常時参加が承認された。

(3) PLM実施基準2021の講習会について (P14SC59-3-1)

PLM実施基準2021の講習会に関して、原子力学会（標準課）が繁忙なため現状では日程を決定できず、9月頃に日程調整を行う予定である旨が説明された。講習会の発表項目及び各担当講師の事務局案が説明され、項目・講師ともに事務局案で進めることとなった。次回分科会までに、各担当で発表案を作成することとなった。

(4) PLM実施基準2021転載許諾に係る改定案 (P14SC59-3-2)

PLM実施基準2021に掲載する図表の転載許諾申請を実施したところ、NRAより出典元の名称変更及び出典元と記載の異なる図の修正の要望があったため、対応案を審議した。事務局の対応案通り、出典元の名称を変更し、当該図（解説図F5.6）をPLM実施基準から削除することとなった。

(5) PLM実施基準2021年版（追補1案）について (P14SC-59-4-1,2,3,4)

PLM実施基準2021年版（追補1案）の報告案が示され、8/4のシステム安全専門部会で審議される旨が説明された。これまで使用してきた「経年劣化メカニズムまとめ表による経年劣化事象の共有及び維持管理スキーム」の図が新検査制度等を踏まえて実態と合ったものへ修正が必要となる旨が説明され、改定案を委員・常時参加者へ送付し意見を募集することとなった。また、経年劣化メカニズムまとめ表改定確認の進捗状況の報告が行われ、8/4のシステム安全専門部会までに本報告案に反映完了する旨が説明された。

劣化メカニズム整理表からの反映事項の対応案が説明され、計測制御設備（P12-13）に記載のある「保護リレー（静止型）」が現状の経年劣化メカニズムまとめ表に記載のプラントには存在しないことが分かったため、詳細版に記載のあったプラントの紐づけを削除することとなった。今後他プラントで「保護リレー（静止型）」が含まれる可能性もあることから学会版の記載はそのまま残すこととなった。松藤委員より、BWRでも現状の経年劣化メカニズムまとめ表に記載の機器・経年劣化事象に該当

するプラントが存在しないと分かった場合、詳細版のプラントの紐づけを削除し学会版の記載は残すこととする旨が説明された。

(6) 長期運転体系検討タスクの状況 (P14SC-59-5-1,2,3)

長期運転体系検討タスクの状況について説明され、前回標準委員会で説明したタスクの提言、最終レポート案及び標準委員会で抽出された意見について紹介され、抽出された意見の対応案を8/4のシステム安全専門部会で審議する予定である旨が説明された。

長期運転体系検討タスクの報告書案に関して、引き続き、意見等があれば随時事務局まで連絡することとなった。

(7) PLM実施基準改定スケジュール (P14SC-59-6)

2025年度までのPLM実施基準改定のスケジュールが報告された。現状、追補1を審議しているが、今後追補2の審議も実施していく旨が説明された。

(8) 米国SLRに関する技術情報 (P14SC-59-7)

最新の米国SLRの動向について、澁谷常時参加者より報告があり、2020年10月～2021年5月のSLR動向が紹介された。「運転認可期間の40年延長」の意味について質問があり、運転認可期間が現在の20年から40年に延長することであり、現状ではその可能性についてNRCで議論している段階である旨が説明された。また、「材料喪失」の意味は、減肉を指すのか又は材料自体がなくなることを指すのか質問があり、前者の意味で使用される旨が説明された。

6. その他

次回以降、参考資料の標準委員会議事録（案）及びシステム安全専門部会議事録（案）は分科会と関係する箇所について、口頭で報告することとなった。

次回分科会は2021年10月にWebにて実施することとなり、後日日程調整を行うこととなった。

以上